ここから４ ―

障害・表現・共生を考える５日間

First steps on disability, expression and co-existence

2019年12月4日（水）～ 12月8日（日）

国立新美術館（東京・六本木） 1階展示室１A 入場無料

https://www.kokokara-ten.jp/

展覧会概要

本展は，障害のある方たちが制作した魅力ある作品だけでなく，様々な障害・障壁への気づきをうながすマンガ・アニメーション作品や体験型のメディアアート作品などを紹介する展覧会です。多様な美術作品が共存する空間を通じて「表現が持つ根源的なよろこび」を感じ，共生社会や文化の多様性について関心や理解を深める機会とします。また，多彩な鑑賞サポートにより，あらゆる人にとって美術館がひらかれることを目指します。

企画趣旨

2016年秋の「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」にあわせて開催した，障害者のアートやスポーツ義足などのデザインに関する展覧会，それが「ここから」展の始まりでした。それ以来，共生社会や文化の多様性について関心を深めることを目標として毎年開催し，今回が「ここから４」となります。

本展では，障害のある方たちが制作した「表現の持つ根源的なよろこび」が感じられる作品に加え，障害・障壁への気づきをうながすマンガ・アニメーションや，身体感覚を際立たせる映像・メディアアートなども紹介します。また，鑑賞支援の取り組みを進めることで，より多くの人に「ひらかれた」展覧会とします。障害の有無を超越し，多様な作品が「ごちゃまぜ」に共存する空間を通じて，創造的に生きることの原点を実感できる機会となることを願っています。

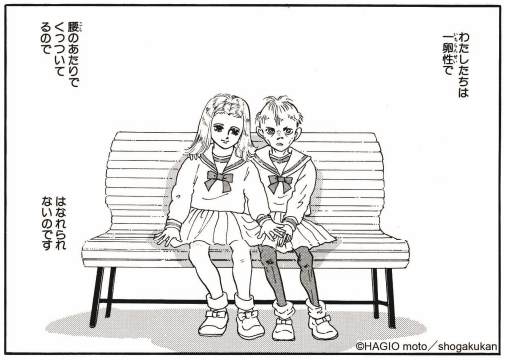
前山裕司（本展監修/美術評論家，新潟市美術館館長）
小林桂子，戸田康太(本展協力/独立行政法人日本芸術文化振興会プログラムオフィサー(メディア芸術)

展覧会内容

障害の有無にかかわらず選ばれた約20組の作家が出展します。アート，デザイン，マンガ，アニメーションといった多様な分野にわたる作品を，5つのキーワードを通じて紹介します。

1「いきる-共に」

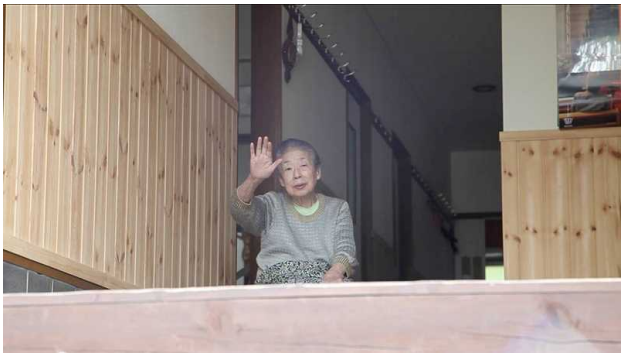
●出品予定作家/ 萩尾望都，山城大督



①

萩尾望都《半神》1984年
マンガ

身体が繋がった結合双生児を描く，短編作品。「生きる」とは何か，「自分」とは誰なのかを考えさせるような，哲学的示唆に富んだ作品。
©HAGIO moto／shogakukan



②

山城大督《佐藤初女｜2014年9月30日》2014年
映像

青森県岩木山のふもとにて，「森のイスキア」を主宰していた佐藤初女さん（2016年2月1日死去。94歳）。その主な活動は，訪れる人々に「食事」と「対話」の場を提供すること。仕込みから，招き入れ，食事，対話，見送りまでの一連の活動を記録した映像作品。映像シリーズ「行為の記録」のうちの1編。

2「ふれる-世界と」

●出品予定作家/ 上嶋重次, 押見修造, 西野克, MATHRAX〔久世祥三＋坂本茉里子〕, nui project

nui project （参考作品）
アート

「針一本で縫い続ける」とい行為の蓄積が独自のスタイルを持った表現として，表れてくる。「障害」とは何か，「アート」や「デザイン」とは何かを問いかける作品。

③

MATHRAX〔久世祥三＋坂本茉里子〕
《いしのこえ》2016年
メディアアート

海岸で見つけた，なぜか気になってしまう石を用いて，触れる，聴くをテーマにした作品。人の触覚が志向する先にあるものを垣間見るインスタレーション。

3「つながる-記憶と」

●出品予定作家/ 井上雄彦，鵜飼結一朗，岡部亮佑，APOTROPIA

④

鵜飼結一朗《妖怪》2019年
アート

同じ対象の生物を次々と描き、重ねるにつれ絵に奥行が生まれる。群れや行列を成す生物の姿は、どこかコミカルさを感じさせる。

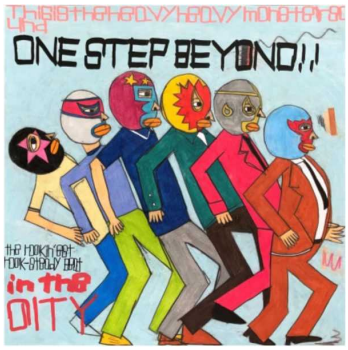
⑤

アポトロピア
APOTROPIA
（アントネッラ・ミニョーネ / クリスティアーノ・パネプッチャ）
《Kintsugi》2014年
映像

交通事故にあった作者による，松葉杖を用いたダンスと日本の「金継ぎ」の技法のイメージ映像を重ね合わせ，「再生」を描く。
©Antonella Mignone, Cristiano Panepuccia

4「あつまる-みんなが」

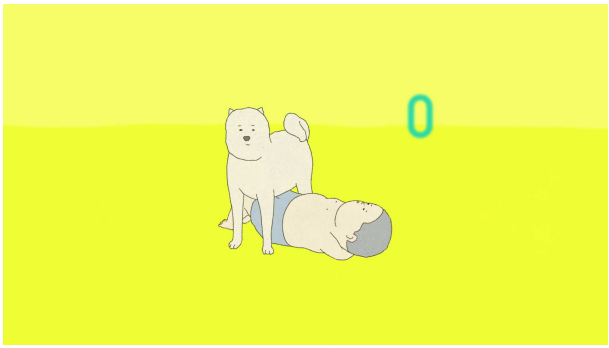
●出品予定作家/ 世界ゆるスポーツ協会 トントンボイス相撲チーム（大瀧篤, 澤田智洋, 水野博之, 喜田葉大, 藤崎克也, 全国紙相撲倶楽部）, マスカラ･コントラ･マスカラ, 森本晃司, 和田淳, やまなみ工房＋PR-y



⑥

マスカラ･コントラ･マスカラ《覆面とロック（レコジャケシリーズ）》2016年～2017年
アート

秋本和久，吉川健司，石平裕一の 3 人のコラボレーション。ケンジさんが覆面レスラーの絵を描き，そこにカズヒサさんが造形的な字を書く。アシスタントのイシダイラさんが2人をつなぐ接着剤として関わる。



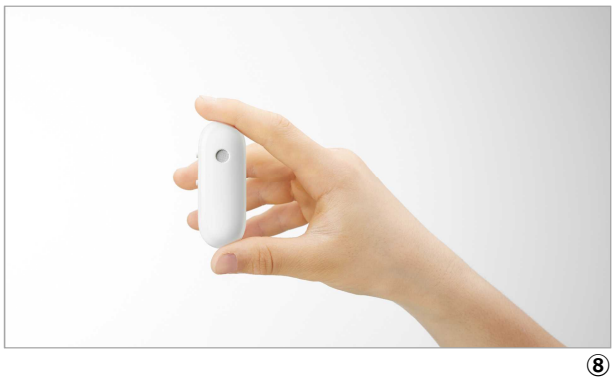
⑦

和田淳 《マイ エクササイズ》2017年～2019年
ゲーム

ボタンを押すと，少年が腹筋を鍛えるエクササイズをするゲーム。腹筋運動の数がカウントされ，回数に応じて他の動物が応援にやってくる。「見ていて気持ちのいい」感覚を呼び起こす，繊細なアニメーションを得意とする作家が初めて制作したゲーム作品。
©Atsushi Wada, New Deer

5「ひろげる-可能性を」

●出品予定作家/ いがらしみきお＋渡邊淳司＋東京藝術大学芸術情報センター（大谷智子，小河原美波, 加藤あずさ, 城戸彩夏, 篠田怜寿, 髙山七虹），佐々木華枝, 佐々木省伍, 本多達也, 吉村和真･藤沢和子･都留泰作, BEAMS × KOBO-SYU



⑧

本多達也《Ontenna（オンテナ）》2019年
プロダクトデザイン

音の特徴を振動と光に変換できる装置。髪や襟元などに身に着けることによって，あらゆる人々が，さまざまな音をからだでとらえて楽しむ，新しい体験ができる。

Innovated by FUJITSU

⑨

佐々木華枝《ヘリコプター》
アート

佐々木華枝さんの絵は小さい。たっぷり取られた余白は空っぽではなく，空気がつまっているようだ。佐々木華枝さんの作品は，BEAMS×KOBO-SYUのプロジェクトではシャツが製品化された。

イベント

「マンガ・アニメを語る／ゆるスポーツを楽しむ」

出展作家をお招きして，作品についてのお話を伺ったり，「ゆるスポーツ」を紹介するイベントを開催します。

日時：2019年12月7日（土） 14:30～17:00
会場：国立新美術館 3階講堂
登壇者：いがらしみきお，森本晃司，大瀧篤 ほか
参加費：無料
※詳細は展覧会ホームページ等でお知らせします。

鑑賞サポート

展示室内で，アート・コミュニケータが鑑賞に手助けが必要な方のサポートをします。

日時：2019年12月7日（土）・8日（日）
会場：展示室内
参加費：無料 事前申込不要
（協力：一般社団法人タップタップラボ／アート・コミュニケータ東京）

※このほか，監修者によるギャラリートーク等の実施を予定しています。

関連企画 「アイヌ文化にふれる」

文化庁では，アイヌ文化の振興等を図るための施策を推進しています。ここから展で取り上げてきた「障害」だけでなく，より幅広い視点で「共生」を考えてゆくためのひとつのきっかけとして，その取組を紹介します。

アイヌの伝承をもとにしたアニメーションと，2020年4月，北海道白老町にオープンする「ウポポイ（民族共生象徴空間）」のコンセプトムービーを上映します。

『この砂赤い赤い タノタ フレ フレ』
（公財）アイヌ民族文化財団制作

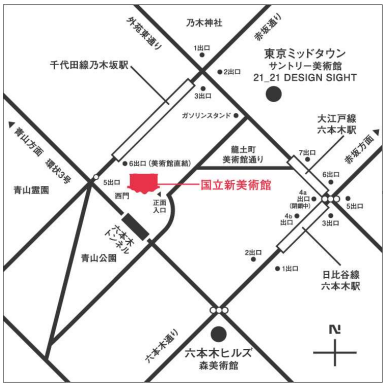
内覧会・開会式

展覧会オープンに先駆けて，展示をご覧いただける「内覧会」，作家たちが参加する「開会式」を開催します。
（事前申込制。申込方法・詳細については事務局へお問合せください）
内覧会（プレスのみ）：2019年12月3日（火） 14:00～15:30 ※担当者がご説明します。
開会式（一般公開）：2019年12月4日（水） 開場時を予定 ※ギャラリートークを開会式後に実施します。

開催概要

展覧会名：ここから4 ―障害・表現・共生を考える5日間
会　　期：2019年12月4日（水）～12月8日（日）
　　会期中無休 ※国立新美術館は毎週火曜日休館
開館時間：10:00～18:00
　　※12月6日(金)，7日(土)は 20:00まで
　　※入場は閉館の30分前まで
会　　場：国立新美術館 1階展示室1A
主　　催：文化庁
共　　催：国立新美術館
制　　作：アートインプレッション
観 覧 料：無料

●お問合せ：03-5777-8600（ハローダイヤル）
●展覧会ホームページ：https://www.kokokara-ten.jp
●Twitter：@kokokara_bunka
●Facebook：https://www.facebook.com/kokokaraten/
●国立新美術館ホームページ：https://www.nact.jp



国立新美術館
〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2

アクセス
東京メトロ千代田線 乃木坂駅
青山霊園方面改札 6出口（美術館直結）
東京メトロ日比谷線 六本木駅
7出口から徒歩約4分
都営地下鉄大江戸線 六本木駅
7出口から徒歩約4分
※美術館には駐車場はございません

本件についてのお問合せ
「ここから4」展 広報事務局［N&A］ 鎌倉・藤村・土屋
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 7F
TEL:03-6261-5784 FAX:03-6369-3596 E-mail:kokokara-ten@nanjo.com